

くらし安心 ^{しげる}すとう茂の市政改革

新中核病院

市役所本庁舎

スピカビル

市民会館



筑西市議会議員

筑西市を
市民の手に取り戻す

行財政改革で現市長方針の約半分を節約

—福祉・教育充実の財源に—

(^{しげる}すとう茂案と市長方針の単純比較)

^{しげる}すとう茂の節約案は76億円!

- 市役所本庁舎をスピカビルに、最小限の**6億円**で移転する。地震から人命を守るため、工期は1年以内に。
- 新中核病院建設の筑西市負担分は**30億円**程度必要。
- 耐震構造のスピカビルを市役所本庁舎にすれば、40年以上使用可能。新市役所建設は次の世代にゆだねる。
- 市民会館の再建に**40億円**程度(結城のアクロス参考)かかるため、新中核病院建設を優先し、市民との合意と財政状況を見ながら進める。

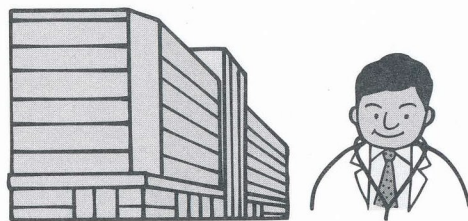
現市長の方針は138億円!

- 資産価値約38億円の市所有スピカビルを**3,580万円**で売却する方針で、市役所本庁舎を**8億円**で耐震補強。工期は2ヶ年計画。15年使用後、新市役所建設のため解体。8億円はムダに!!
- 新中核病院建設の筑西市負担分は**30億円**程度(推計)。
- 15年後の新市役所建設費は**60億円**程度(推計)。
- 15年後の市民会館建設費は**40億円**程度(結城のアクロス参考)。

新中核病院を成功させるカギは

市独断ではなく、各界各層の意見反映を!

今までのような、地元医師会や筑西市議会を無視したやり方で、期限を理由に拙速に進めては禍根を残します。県、両市、地元医師会、筑西市議会、桜川市議会が話し合いを重ね、納得がいく進め方が必要です。同時に期限の延長も国、県に働きかけて実現していく必要があります。



男女共同参画社会の実現をめざし、

筑西市女性の地位向上と活躍を!

欧米先進諸国に比べて日本は、女性の社会進出・地位向上が非常に遅れています。筑西市も例外ではありません。市も男女共同参画運動を推進していますが、あまり実をあげていない状況です。筑西市の女性の地位向上を強力に推進していきます。

〈^{しげる}すとう茂の経歴〉
昭和26年生まれ。川島小、下館西中卒業後、結城一高の生徒会長を務める。昭和49年、苦学して大東文化大学(政治経済学部)を卒業。
平成に入って丹羽雄哉元厚生大臣(現衆議院議員)の秘書を昨年まで務める。
平成15年下館市議会議員に初当選、以来筑西市を含め連続3回当選、現在に至る。
その間、男女共同参画審議会会長などを歴任し、現在新中核病院建設推進特別委員長を務めている。

【^{しげる}すとう茂 連絡先】住所：〒308-0041 筑西市二木成1392 電話 0296-25-3304

2013年3月1日号

FAX 0296-25-3305